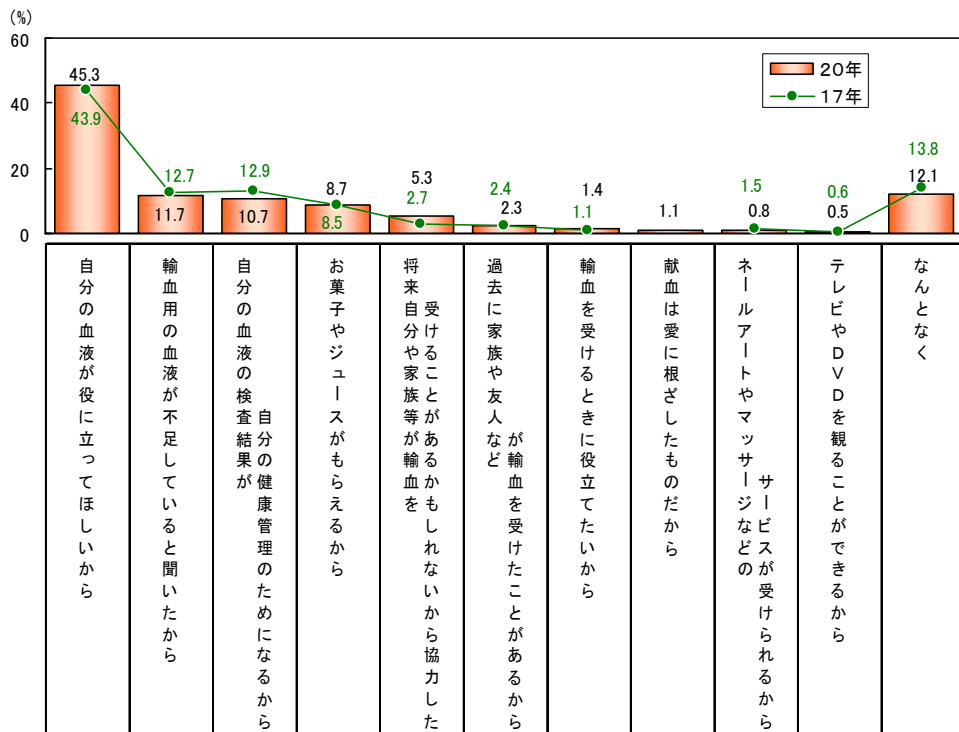




## (3) 現在献血するきっかけ「1位<最も大きな要因>」(Q19)

Q19. 現在献血するきっかけになっているのは、次のうちどれですか。  
 きっかけの大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数:対象者全員】

		(N)	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年
全 体	20年	(5000)	45.3	43.9	11.7	12.7	10.7	12.9	8.7	8.5	5.3	2.7	2.4	1.4
	17年	(5000)	43.9	45.3	12.7	11.7	12.9	10.7	8.5	8.7	2.7	2.4	1.1	1.1
職業別	高校生	20年 (181)	48.6	37.9	8.3	9.2	6.6	10.3	11.0	8.0	3.9	4.6	1.7	1.7
	17年 (87)	37.9	48.6	9.2	8.3	10.3	6.6	11.0	8.0	4.6	1.1	3.4	1.7	
	大学生・専門学校生	20年 (1453)	44.5	42.0	12.9	14.7	10.9	12.6	10.3	10.1	4.1	2.1	1.9	1.4
	17年 (652)	42.0	44.5	14.7	12.6	10.9	10.3	10.1	1.8	2.9	0.9	1.4	0.6	
	会社員	20年 (2152)	43.9	44.2	11.5	13.1	11.2	12.7	7.7	7.7	5.9	2.8	2.9	1.0
	17年 (2099)	44.2	43.9	13.1	12.7	7.7	7.7	2.8	2.9	1.0	0.9	1.4	0.6	
	公務員	20年 (207)	45.9	43.3	9.7	14.8	12.6	18.7	6.3	6.4	3.9	2.9	1.4	1.4
	17年 (203)	43.3	45.9	14.8	18.7	6.4	4.4	0.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.0	
	自営業	20年 (106)	53.8	46.9	8.5	7.7	12.3	11.9	8.5	7.7	3.8	1.9	-	2.8
	17年 (143)	46.9	53.8	7.7	11.9	7.7	0.7	4.2	1.4	1.4	-	2.8	0.8	
専業主婦	20年 (448)	54.7	46.6	11.6	11.6	8.0	12.6	7.4	8.9	8.7	1.1	0.4	0.2	
17年 (1067)	46.6	54.7	11.6	11.6	7.4	8.7	1.1	0.4	0.2	0.9	-	0.9		
その他	20年 (453)	41.3	41.4	11.9	12.0	10.8	13.2	9.9	9.3	4.6	1.8	0.7	0.9	
17年 (749)	41.4	41.3	12.0	13.2	9.3	1.7	1.3	1.2	1.2	0.9	1.6	0.1		
性別	男性	20年 (2556)	43.5	42.3	10.1	12.5	11.2	12.4	7.6	5.0	2.3	1.6	1.5	0.6
	17年 (1705)	42.3	43.5	12.5	12.4	7.6	2.9	2.2	1.5	1.5	0.6	0.7	0.6	
女性	20年 (2444)	47.1	44.8	13.4	12.8	10.2	13.2	9.0	8.9	5.6	2.4	1.2	0.7	
17年 (3295)	44.8	47.1	12.8	13.2	8.9	2.6	2.5	0.9	0.9	1.6	0.5	1.2		
地域別	北海道	20年 (210)	37.1	50.0	15.2	8.0	11.9	11.0	10.0	4.3	2.5	4.0	2.9	0.5
	17年 (200)	50.0	37.1	8.0	11.0	10.0	2.5	4.0	1.5	0.5	1.0	0.5	1.1	
	東北	20年 (355)	42.8	48.3	13.8	11.7	11.5	13.1	7.9	8.0	4.8	1.1	2.6	0.6
	17年 (350)	48.3	42.8	11.7	13.1	8.0	1.1	2.6	1.7	0.6	1.1	0.6	1.1	
	関東甲信越	20年 (1825)	44.8	41.2	10.5	11.8	10.2	11.4	10.4	5.3	2.0	2.4	0.9	1.5
	17年 (1800)	41.2	44.8	11.8	11.4	10.4	2.9	2.4	0.9	1.5	2.5	0.7	1.0	
	東海北陸	20年 (780)	46.5	44.8	11.4	13.5	8.5	14.3	6.4	3.1	5.0	2.7	1.3	0.6
	17年 (750)	44.8	46.5	13.5	14.3	6.4	3.1	2.1	1.3	1.3	0.6	0.6	0.8	
	近畿	20年 (816)	46.8	44.6	12.1	14.8	11.4	15.3	5.1	5.9	1.7	1.3	1.6	1.2
	17年 (850)	44.6	46.8	14.8	15.3	5.1	2.4	2.5	0.9	0.9	1.2	0.4	0.9	
	中国・四国	20年 (431)	45.5	43.6	12.5	14.7	11.4	10.2	8.9	6.0	2.4	2.4	1.3	0.7
	17年 (450)	43.6	45.5	14.7	10.2	8.9	2.4	2.4	1.3	0.7	0.7	0.4	0.9	
九州・沖縄	20年 (583)	47.0	45.7	12.2	12.0	12.9	14.7	5.7	9.5	5.1	2.9	1.9	0.5	
17年 (600)	45.7	47.0	12.0	14.7	9.5	3.3	1.7	0.8	0.8	1.2	0.5	0.3		

注: 17年は「献血は愛に根ざしたもだから」の回答肢なし。



### (4) 現在献血するきっかけ「1位～3位累計」(Q19)

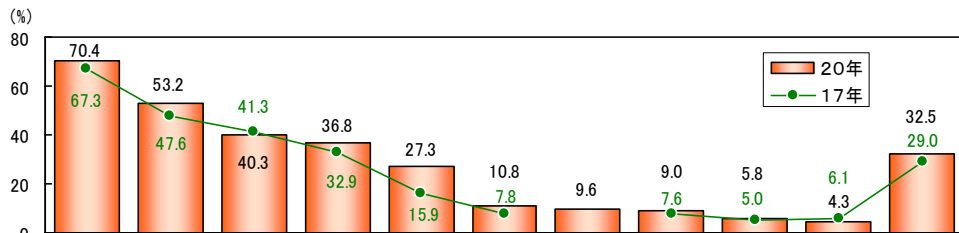
- 《現在献血する》きっかけを1位～3位の累計で見ると、「自分の血液が役に立ってほしいから」が70.4%とやはり圧倒的なトップ。【初めての献血のきっかけ】と同様、最大要因となっている。
- 以下、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(53.2%)、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」(40.3%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(36.8%)、「将来自分や家族等が輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」(27.3)の順で続く。
- 職業別にみると、「自分の血液が役に立ってほしいから」は自営業、専業主婦でやや高い。一方、高校生は「お菓子やジュースがもらえるから」が他層に比べやや高く、また新規の「献血は愛に根ざしたものだから」は高校生、自営業で高めだった。
- 性別・地域別による違いはあまりみられない。

- 17年度調査と比較すると、全体では「輸血用の血液が不足していると聞いたから」「将来自分や家族等が輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」がやや増えた。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別を通して、総じて各層とも「輸血用の血液が不足していると聞いたから」「将来自分や家族等が輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」がやや増加したのは共通。
- なお、「自分の血液が役に立ってほしいから」は高校生、自営業で高まっている。一方、会社員、公務員では「なんとなく」がやや増えている。
- 性別では、男性で「お菓子やジュースがもらえるから」がやや増加した。



## (4) 現在献血するきっかけ「1位～3位累計」(Q19)

Q19. 現在献血するきっかけになっているのは、次のうちどれですか。  
 きっかけの大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数:対象者全員】

		(N)											(%)	
		20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年		17年
全 体	20年	(5000)	70.4	53.2	40.3	36.8	27.3	10.8	9.6	9.0	5.8	4.3	32.5	
	17年	(5000)	67.3	47.6	41.3	32.9	15.9	7.8	9.6	7.6	5.0	6.1	29.0	
職業別	高校生	20年	(181)	71.8	49.2	27.6	44.8	21.5	9.9	16.6	13.3	5.5	9.4	30.4
		17年	(87)	54.0	43.7	35.6	41.4	12.6	17.2	8.0	6.9	6.9	34.4	
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	69.4	53.0	40.3	40.1	25.3	11.9	10.2	8.6	6.3	3.1	31.9
		17年	(652)	66.0	49.4	39.6	38.3	12.4	7.1	10.2	8.9	5.8	6.0	31.6
	会社員	20年	(2152)	69.6	53.0	40.5	34.7	28.9	10.8	9.3	9.4	5.6	4.1	34.2
		17年	(2099)	66.6	49.1	41.8	31.6	15.9	7.8	8.3	5.1	5.6	28.5	
	公務員	20年	(207)	73.4	53.1	43.5	31.4	31.4	10.6	11.1	8.7	5.3	2.4	29.0
		17年	(203)	74.9	53.2	48.8	30.5	18.7	6.4	11.1	6.4	7.4	4.4	22.2
	自営業	20年	(106)	75.5	51.9	43.4	34.9	23.6	4.7	17.0	7.5	5.7	6.6	29.2
		17年	(143)	65.7	42.0	41.3	25.9	11.9	9.8	11.9	8.4	7.0	30.8	
	専業主婦	20年	(448)	76.1	58.0	38.8	31.3	32.8	8.9	8.3	8.0	4.7	6.7	26.3
		17年	(1067)	71.2	45.7	40.8	33.6	21.0	7.5	8.3	6.6	3.8	6.9	25.3
	その他	20年	(453)	68.4	52.1	43.5	41.5	22.3	11.0	5.5	8.2	6.6	5.3	35.5
		17年	(749)	65.0	44.7	40.7	31.6	12.3	7.7	5.5	5.2	4.3	6.4	34.0
性別	男性	20年	(2556)	68.2	50.3	40.4	36.3	25.7	12.3	11.7	9.6	6.2	3.5	35.8
		17年	(1705)	65.5	46.4	40.6	29.7	15.4	9.1	11.7	7.7	6.0	5.0	31.4
	女性	20年	(2444)	72.6	56.3	40.1	37.3	29.0	9.2	7.4	8.4	5.4	5.2	29.1
		17年	(3295)	68.3	48.3	41.6	34.5	16.2	7.1	7.4	7.5	4.6	6.6	27.7
地域別	北海道	20年	(210)	65.7	56.2	41.9	41.4	25.7	12.9	9.5	7.1	2.9	4.8	31.9
		17年	(200)	69.0	46.0	37.0	36.5	19.5	9.5	9.5	8.0	3.5	5.0	29.5
	東北	20年	(355)	72.1	52.4	38.9	36.1	30.4	6.5	9.9	10.7	3.9	3.4	35.8
		17年	(350)	71.7	49.4	41.7	30.9	16.0	10.9	9.9	6.6	4.6	4.9	26.6
	関東甲信越	20年	(1825)	68.9	51.0	38.9	39.8	25.7	10.7	10.8	8.4	6.2	5.4	34.0
		17年	(1800)	64.3	45.7	37.8	35.8	15.7	7.4	10.8	7.1	4.9	7.9	31.1
	東海北陸	20年	(780)	72.4	52.6	39.5	36.5	27.1	10.8	8.3	10.8	6.9	3.8	31.3
		17年	(750)	68.7	46.7	42.0	31.7	17.3	7.5	8.3	9.7	7.6	5.2	27.6
	近畿	20年	(816)	70.5	55.0	40.3	31.9	32.1	11.2	10.0	8.8	5.0	4.3	30.9
		17年	(850)	68.1	49.5	45.3	28.5	15.6	7.3	10.0	8.4	4.1	5.6	28.8
中国・四国	20年	(431)	70.5	56.1	41.1	36.9	26.7	11.1	7.9	10.0	5.8	3.0	30.9	
	17年	(450)	68.4	50.4	38.4	29.1	13.8	6.4	7.9	6.4	2.9	2.4	31.3	
九州・沖縄	20年	(583)	72.6	55.9	45.1	33.1	25.0	12.2	8.2	7.7	6.0	3.1	31.0	
	17年	(600)	69.8	49.5	48.5	34.7	15.8	8.7	8.2	6.5	6.0	6.0	24.4	

注: 17年は「献血は愛に根ざしたものだから」の回答数なし。



## (5) 高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか (Q22)

- 《高校での集団献血があれば、その後の献血する動機付けになると思うか》と質問した結果、「非常に有効」と評価した人が36.4%を占める。また「どちらかといえば有効」(48.2%)と併せたポジティブ評価は実に84.6%にのぼる。
- 職業別にみると、ポジティブ評価(有効計)は専業主婦で9割を超えており最も高い。一方、他層に比べて自営業でやや低い。ただし、トップボックス(非常に有効)に限ると両層で4割強と高い。
- なお、関連質問として《初めて献血した場所別》にみると(下図)、高校や大学などで初めて献血したという層ほど、“より有効”とする傾向がみられる。特に、高校で初めて経験した層で顕著で、有効計、トップボックス比率ともに高い。

- 17年度調査と比較すると、全体ではポジティブ評価(有効計)が65.9%→84.6%へ、大幅に上昇した(19ポイント増)。高校での献血はその後の献血への動機付けになるとの意識は高くなっている。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別を通して、各層とも“有効計”の割合が大きく上昇した。特に、高校生、大学生・専門学校生、専業主婦で20ポイント以上増加し、高校生の伸びが顕著。
- 地域別では、中国・四国の上昇度が目立つ。

### <関連質問の回答別>





## (5) 高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか (Q22)

Q22. 高校での集団献血があれば、その経験がその後に献血する動機付けになると思いますか。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)				有効 (計)	関係ない (計)
			非常に有効	どちらかといえば有効	あまり関係ない	全く関係ない		
全 体	20年	(5000)	36.4	48.2	11.7	3.7	84.6	15.4
	17年	(5000)	20.4	45.5	22.4	11.7	65.9	34.1
高校生	20年	( 626)	35.9	49.2	8.8	6.1	85.1	14.9
	17年	( 398)	20.7	35.6	28.7	14.9	56.3	43.7
大学生・専門学校生	20年	(1484)	35.1	49.1	12.0	3.9	84.2	15.8
	17年	( 932)	18.1	45.2	23.9	12.7	63.3	36.7
会社員	20年	(1545)	36.5	47.8	11.9	3.8	84.3	15.7
	17年	(1596)	21.0	44.4	23.2	11.5	65.4	34.6
公務員	20年	( 85)	38.2	44.9	13.0	3.9	83.1	16.9
	17年	( 104)	25.6	48.8	18.2	7.4	74.4	25.6
自営業	20年	( 134)	41.5	36.8	14.2	7.5	78.3	21.7
	17年	( 115)	21.0	46.9	21.0	11.2	67.8	32.2
専業主婦	20年	( 423)	41.5	51.1	6.9	0.4	92.6	7.4
	17年	( 856)	21.8	50.0	18.5	9.7	71.8	28.2
その他	20年	( 703)	33.6	47.9	15.0	3.5	81.5	18.5
	17年	( 999)	17.5	42.3	25.4	14.8	59.8	40.2
性別 男性	20年	(2556)	34.9	47.3	12.7	5.0	82.3	17.7
	17年	(1688)	19.4	41.3	26.7	12.6	60.7	39.3
女性	20年	(2444)	38.0	49.0	10.8	2.2	87.0	13.0
	17年	(3312)	21.0	47.6	20.2	11.2	68.6	31.4
地域別 北海道	20年	( 210)	35.7	48.1	12.4	3.8	83.8	16.2
	17年	( 200)	16.0	49.0	25.5	9.5	65.0	35.0
東北	20年	( 355)	40.0	45.6	10.4	3.9	85.6	14.4
	17年	( 350)	24.0	48.0	17.4	10.6	72.0	28.0
関東甲信越	20年	(1825)	33.4	49.5	12.9	4.2	82.9	17.1
	17年	(1800)	19.9	44.3	22.5	13.3	64.2	35.8
東海北陸	20年	( 780)	37.6	48.1	10.6	3.7	85.6	14.4
	17年	( 750)	20.9	46.1	21.9	11.1	67.1	32.9
近畿	20年	( 816)	36.3	48.2	12.3	3.3	84.4	15.6
	17年	( 850)	18.4	46.5	24.2	10.9	64.8	35.2
中国・四国	20年	( 431)	36.2	50.8	10.7	2.3	87.0	13.0
	17年	( 450)	19.1	44.4	25.8	10.7	63.6	36.4
九州・沖縄	20年	( 583)	42.9	43.7	10.1	3.3	86.6	13.4
	17年	( 600)	24.7	45.0	19.7	10.7	69.7	30.3



### (1) 家族の献血の有無 (Q20)

### <新規質問>

- 家族が『献血』している姿を見たことが「ある」という人は21.8%。
- 職業別にみると、専業主婦で「ある」が3割を超えており他層に比べて高い。また、男性に比べて女性の方が10ポイント上回る。
- 地域別による差はそれほどみられない。



## (1) 家族の献血の有無 (Q20)

Q20. ご家族が献血している姿を見たことがありますか。

【基数:対象者全員】		(N)	(% )		
			ある	ない	覚えていない
全 体		(5000)	21.8	70.6	7.6
職業別	高校生	( 181)	23.2	65.2	11.6
	大学生・専門学校生	(1453)	20.0	71.9	8.1
	会社員	(2152)	20.9	71.3	7.8
	公務員	( 207)	18.8	74.4	6.8
	自営業	( 106)	22.6	70.8	6.6
	専業主婦	( 448)	32.4	64.3	3.3
	その他	( 453)	21.6	69.8	8.6
性別	男性	(2556)	16.8	73.7	9.5
	女性	(2444)	27.0	67.4	5.6
地域別	北海道	( 210)	21.0	71.4	7.6
	東北	( 355)	23.9	71.0	5.1
	関東甲信越	(1825)	20.7	71.9	7.5
	東海北陸	( 780)	22.2	70.3	7.6
	近畿	( 816)	23.2	68.0	8.8
	中国・四国	( 431)	23.7	67.7	8.6
	九州・沖縄	( 583)	20.2	72.4	7.4



### (2)友人の献血の有無 (Q21)

### <新規質問>

- 献血経験者の6割(59.7%)が、友達に献血をしている人が「いる」と回答。
- 職業別にみると、「いる」の割合が高いのは大学生・専門学校生と公務員で7割弱にのぼる。一方、自営業、専業主婦では半数前後と他層に比べてやや低い。
- 性別では、「いる」の割合は男性に比べて女性が約8ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「いる」が7割と他地域よりも高い。





## (2)友人の献血の有無 (Q21)

Q21. あなたのお友達に献血をしている人はいますか。

【基数:対象者全員】		(N)	%		
			いる	いない	わからない
全 体		(5000)	59.7	15.4	25.0
職業別	高校生	( 181)	56.9	18.2	24.9
	大学生・専門学校生	(1453)	66.3	12.3	21.3
	会社員	(2152)	58.5	16.2	25.3
	公務員	( 207)	69.6	13.5	16.9
	自営業	( 106)	47.2	18.9	34.0
	専業主婦	( 448)	54.5	14.1	31.5
	その他	( 453)	48.3	21.4	30.2
	性別	男性	(2556)	56.0	17.0
女性		(2444)	63.5	13.7	22.8
地域別	北海道	( 210)	60.5	13.8	25.7
	東北	( 355)	69.9	11.8	18.3
	関東甲信越	(1825)	57.1	17.6	25.3
	東海北陸	( 780)	60.0	11.9	28.1
	近畿	( 816)	58.7	17.0	24.3
	中国・四国	( 431)	61.3	13.5	25.3
	九州・沖縄	( 583)	60.9	14.8	24.4



## (1) 献血の必要性への理解の深まり (Q23-1)

- 献血に関する資料(巻末参照)の閲読後に、『献血』に関する意識の変化を質問した。まず、「献血の必要性への理解は今までと比べて深まりましたか」との質問では「はい」が32.7%で、「どちらかというとはい」(59.4%)まで含めたポジティブ評価(理解が深まった計)は92.1%にのぼる。一方、否定的な意見はほとんどみられなかった。
- 職業別にみると、各層ともポジティブ評価が9割前後と非常に高いが、その中でも特に専業主婦で高い。トップボックス(はい)も4割弱と他層よりも高い。
- 性別・地域別による違いはあまりみられない。

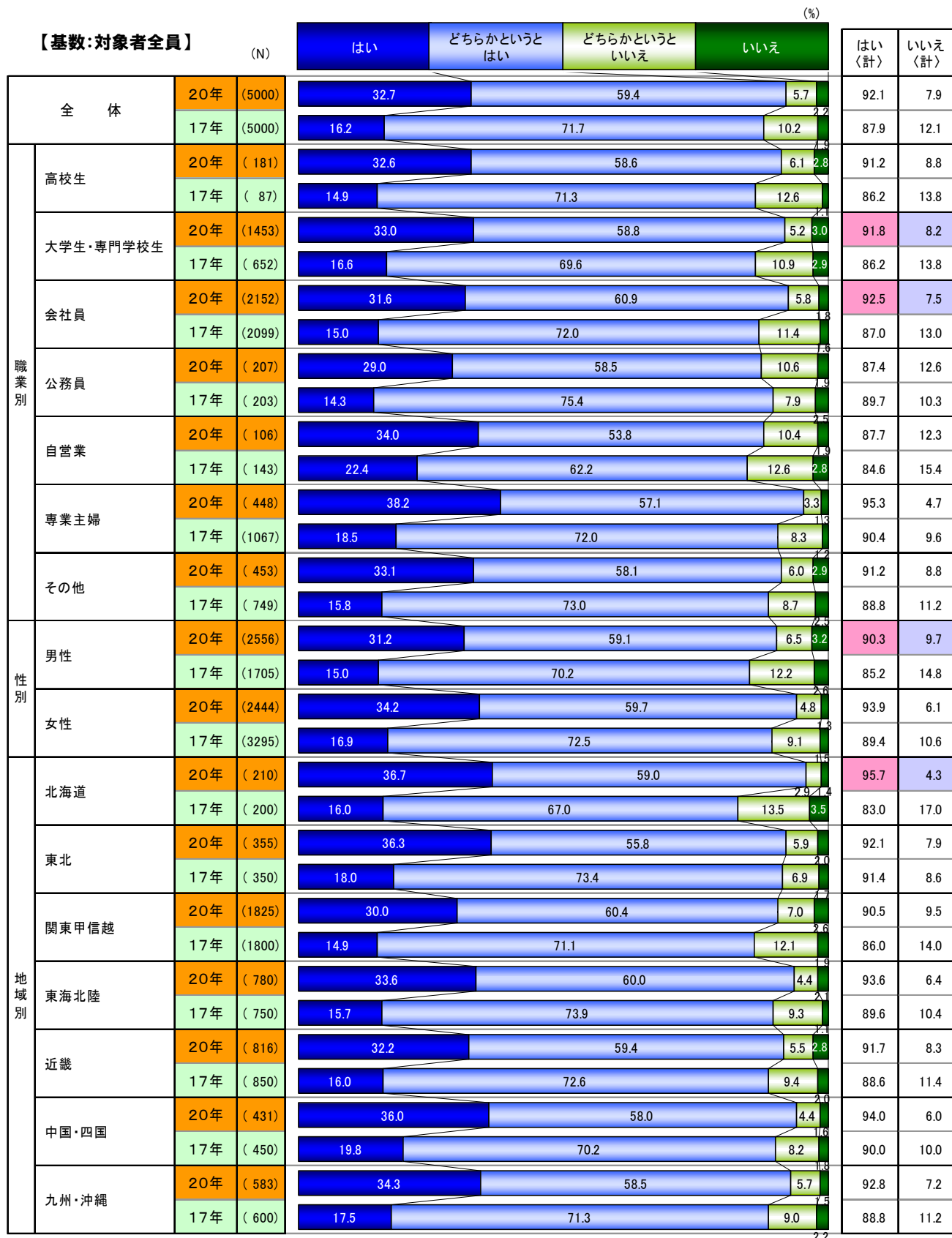
- 17年度調査と比較すると、全体ではポジティブ評価(理解が深まった計)が87.9%→92.1%へ、さらに4ポイント上昇した。
- 職業別にみると、大学生・専門学校生、会社員で、ポジティブ評価が前回に比べ5ポイント以上上昇している。
- 性別では男性、地域別では北海道で、やはりポジティブ評価が5ポイント以上高まっている。



## (1) 献血の必要性への理解の深まり (Q23-1)

Q23. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。

1) 献血の必要性への理解は今までと比べ深まりましたか。





## (2) 献血に協力する意識の高まり (Q23-2)

- 閲読後に、「献血に協力する気持ちは高まりましたか」と聞いたところ、「はい」が31.3%で、「どちらかというとはい」(56.6%)まで含めると、ほぼ9割(87.9%)で協力意向の高まりがみられた。
- 職業別・性別による違いはあまりみられないが、その中で専業主婦でポジティブ評価が9割以上と特に高い。なお、トップボックス(はい)に限ると、高校生も専業主婦と遜色なく他層より高い。
- 地域別では、中国・四国でトップボックス比率が最も高くなってる。

- 17年度調査と比較すると、全体のポジティブ評価は85.3%→87.9%と、若干上昇した。
- 職業別にみると、各層ともポジティブ評価は若干上昇した程度にとどまるものの、トップボックス比率が各層とも大きく上昇した。特に、高校生、専業主婦の伸びが目立つ。
- 地域別では、北海道、中国・四国で前回よりもポジティブ評価がやや上昇。トップボックス比率は各地域とも高まっている。



## (2) 献血に協力する意識の高まり (Q23-2)

Q23. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。

2) 資料を読んで献血に協力する気持ちは高まりましたか。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)				はい (計)	いいえ (計)	
			はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ			
全 体	20年	(5000)	31.3	56.6	9.3	9.7	87.9	12.1	
	17年	(5000)	19.3	66.0	12.5	2.3	85.3	14.7	
高 校 生	20年	(181)	36.5	48.6	11.6	3.3	85.1	14.9	
	17年	(87)	20.7	59.8	17.2	2.3	80.5	19.5	
大学生・専門学校生	20年	(1453)	31.9	56.5	8.3	3.3	88.4	11.6	
	17年	(652)	18.9	64.9	12.6	3.7	83.7	16.3	
会 社 員	20年	(2152)	29.9	57.9	9.8	2.5	87.7	12.3	
	17年	(2099)	19.0	65.0	13.7	2.3	84.0	16.0	
公 務 員	20年	(207)	30.0	54.6	13.5	1.9	84.5	15.5	
	17年	(203)	22.2	66.5	10.8	0.5	88.7	11.3	
自 営 業	20年	(106)	25.5	55.7	16.0	2.8	81.1	18.9	
	17年	(143)	21.7	59.4	16.1	2.8	81.1	18.9	
専業主婦	20年	(448)	37.1	56.7	4.9	1.2	93.8	6.3	
	17年	(1067)	20.8	68.5	9.2	1.5	89.3	10.7	
そ の 他	20年	(453)	30.7	55.4	10.4	3.5	86.1	13.9	
	17年	(749)	17.0	67.7	12.7	2.7	84.6	15.4	
性 別	20年	(2556)	27.0	58.1	11.2	3.7	85.1	14.9	
	17年	(1705)	15.7	65.2	15.8	3.3	80.9	19.1	
女 性	20年	(2444)	35.9	55.0	7.3	1.8	90.9	9.1	
	17年	(3295)	21.2	66.4	10.7	1.7	87.5	12.5	
地 域 別	北 海 道	20年	(210)	35.2	55.2	7.6	1.9	90.5	9.5
		17年	(200)	22.5	60.0	14.5	3.0	82.5	17.5
	東 北	20年	(355)	33.0	56.3	8.7	2.0	89.3	10.7
		17年	(350)	21.1	68.0	8.9	2.0	89.1	10.9
	関 東 甲 信 越	20年	(1825)	28.3	57.6	10.8	3.2	85.9	14.1
		17年	(1800)	17.2	65.2	14.9	2.7	82.4	17.6
	東 海 北 陸	20年	(780)	31.2	57.7	7.9	3.2	88.8	11.2
		17年	(750)	20.3	66.1	12.5	1.1	86.4	13.6
	近 畿	20年	(816)	31.1	56.9	9.3	2.7	88.0	12.0
		17年	(850)	18.1	68.4	10.8	2.7	86.5	13.5
	中 国 ・ 四 国	20年	(431)	38.7	53.1	6.7	1.4	91.9	8.1
		17年	(450)	21.1	64.7	11.8	2.4	85.8	14.2
	九 州 ・ 沖 縄	20年	(583)	33.3	55.1	9.3	2.3	88.3	11.7
		17年	(600)	22.7	66.3	9.2	1.8	89.0	11.0



## (3) 献血回数の増加意向喚起 (Q23-3)

- 同様に、アンケートへの記載や資料を読んで《献血に行く回数を増やそうと思いましたか》と聞いたところ、「はい」が28.5%。「どちらかというとはい」(54.4%)を含めると、全体の83.0%が今後献血へ行く回数の増加意向を示した。資料閲読後に多くの人が回数の増加を喚起されている。
- 職業別にみると、専業主婦でポジティブ評価が9割と特に高い。またトップボックス(はい)に限ると、高校生は専業主婦をも凌いでおり、両層が他層よりも高いのが目立つ。一方、公務員、会社員のポジティブ評価がやや低め。
- 性別では、女性のポジティブ評価が男性を9ポイント近く上回っている。
- 地域別では、各地域ともポジティブ評価は8割以上で差はみられない。

- 17年度調査と比較すると、全体のポジティブ評価は82.5%→83.0%と、ほぼ横ばい。ただし、トップボックス(はい)に限ると、19.7%→28.5%へ9ポイント上昇している。
- 職業別にみると、ポジティブ評価は公務員でやや低下。それ以外は大きな動きはみられない。なお、全体と同様、各層ともトップボックス比率が前回に比べて上昇。特に、高校生、専業主婦の上昇度が顕著。
- 地域別では、北海道でポジティブ評価が上昇。トップボックス比率は各地域とも高まっている。



## (3) 献血回数の増加意向喚起 (Q23-3)

Q23. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。

3) アンケートへの記載及び資料を読んで、献血に行く回数を増やそうと思いましたか。

【基数:対象者全員】			(%)				はい (計)	いいえ (計)
	(N)		はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ		
全 体	20年 (5000)		28.5	54.4	13.0	4.1	83.0	17.0
	17年 (5000)		19.7	62.8	14.3	3.2	82.5	17.5
高 校 生	20年 (181)		35.4	44.8	13.8	6.1	80.1	19.9
	17年 (87)		20.7	60.9	14.9	3.4	81.6	18.4
大学生・専門学校生	20年 (1453)		29.4	54.0	12.3	4.3	83.4	16.6
	17年 (652)		20.9	60.0	14.1	5.1	80.8	19.2
会 社 員	20年 (2152)		26.9	56.0	13.4	3.8	82.9	17.1
	17年 (2099)		19.3	62.6	15.1	3.0	81.9	18.1
公 務 員	20年 (207)		28.5	50.2	17.4	3.9	78.7	21.3
	17年 (203)		23.6	60.6	13.8	2.0	84.2	15.8
自 営 業	20年 (106)		25.5	51.9	18.9	3.8	77.4	22.6
	17年 (143)		15.4	64.3	16.1	4.2	79.7	20.3
専業主婦	20年 (448)		33.7	56.5	7.8	2.0	90.2	9.8
	17年 (1067)		20.5	65.9	11.8	1.8	86.4	13.6
そ の 他	20年 (453)		26.5	52.8	14.6	6.2	79.2	20.8
	17年 (749)		17.9	62.2	15.5	4.4	80.1	19.9
性 別	20年 (2556)		24.6	54.2	16.0	5.2	78.8	21.2
	17年 (1705)		16.4	62.1	17.2	4.3	78.5	21.5
女 性	20年 (2444)		32.6	54.7	9.8	2.9	87.3	12.7
	17年 (3295)		21.3	63.2	12.8	2.7	84.6	15.4
地 域 別	20年 (210)		35.2	51.9	7.6	5.2	87.1	12.9
	17年 (200)		23.5	55.5	16.5	4.5	79.0	21.0
北 海 道	20年 (355)		28.2	55.2	13.8	2.8	83.4	16.6
	17年 (350)		23.4	61.1	11.7	3.7	84.6	15.4
東 北	20年 (1825)		26.4	54.4	14.5	4.7	80.8	19.2
	17年 (1800)		17.2	62.1	17.1	3.7	79.2	20.8
関 東 甲 信 越	20年 (780)		30.0	53.5	12.1	4.5	83.5	16.5
	17年 (750)		19.2	65.6	12.9	2.3	84.8	15.2
東 海 北 陸	20年 (816)		27.5	55.9	13.5	3.2	83.3	16.7
	17年 (850)		18.5	65.2	13.4	2.9	83.6	16.4
近 畿	20年 (431)		32.3	53.8	11.1	2.8	86.1	13.9
	17年 (450)		22.9	61.3	13.3	2.5	84.2	15.8
中 国 ・ 四 国	20年 (583)		29.8	54.7	11.3	4.1	84.6	15.4
	17年 (600)		23.5	63.0	10.5	3.0	86.5	13.5



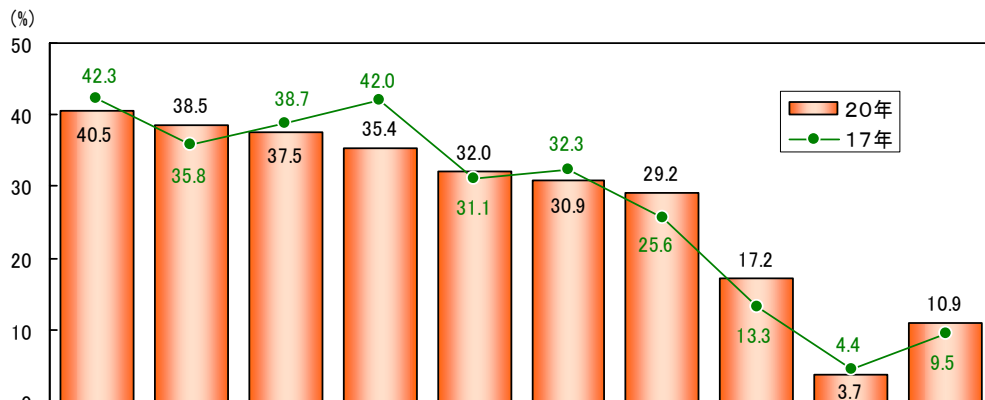
- 最後に、『献血』についての要望や知りたいことをみると、トップは「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」で40.5%。
- 以下、「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(38.5%)、「献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい」(37.5%)、「献血した時の処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」(35.4%)などが僅差で続いており、突出したものはないものの要望は多岐にわたっている。
- 職業別にみると、他層に比べて専業主婦の要望が総じて多岐にわたる。特に、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」が他層に比べて高い。  
一方、高校生、公務員はともに「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」がやや低い。しかし、「献血で昼休み、夜間などの受付時間を延長してほしい」は両者で差があり、公務員で最も高く、高校生で最も低い。  
なお、高校生は「進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい」が他層よりも高い。
- 性別では、総じて男性より女性の要望が目立つ。特に「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」でその差が大きい。
- 地域別では、多少のスコア差はあるものの、全体的には大きな違いはみられない。

- 17年度調査と比較すると、全体的に大きな動きはみられない。その中で「献血した時の処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」がややスコアを下げている。
- 職業別にみると、上位項目の中では「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」は高校生、「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」は専業主婦、自営業でやや増加。  
また、「献血された血液がどのように使われるのか知りたい」は専業主婦、高校生で、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」は専業主婦と会社員でやや増えている。  
なお、自営業、公務員は「特にない」が前回よりも増えた。
- 地域別では、上位項目において北海道の上昇度が目立つ。





Q11. 献血について何か要望又は知りたいことがありますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年				
全体		(5000)	40.5	42.3	38.5	35.8	37.5	38.7	35.4	42.0	32.0	31.1	30.9	32.3	29.2	25.6	17.2	13.3	3.7	4.4	10.9	9.5
職業別	高校生	(181)	35.4	28.7	33.1	46.0	41.4	42.5	35.9	44.8	28.2	23.0	14.4	26.4	23.2	20.7	24.9	23.0	2.2	1.1	16.0	11.5
	大学生・専門学校生	(1453)	38.3	41.0	39.2	41.3	36.0	35.9	36.6	44.5	28.4	28.8	31.7	35.1	26.6	26.2	22.1	20.9	2.9	3.4	12.0	7.8
	会社員	(2152)	40.9	43.0	39.1	38.2	36.8	37.3	32.9	40.1	33.5	29.7	35.0	32.5	28.1	22.3	13.2	11.6	3.9	3.4	9.8	9.4
	公務員	(207)	34.3	36.0	41.5	41.4	35.3	36.9	34.8	38.4	24.6	22.7	42.9	36.2	24.2	21.7	17.9	10.8	4.3	5.9	12.1	5.4
	自営業	(106)	40.6	46.2	30.2	21.7	41.5	44.1	34.0	37.1	33.0	37.8	27.4	28.0	29.2	27.3	19.8	10.5	6.6	7.0	17.0	8.4
	専業主婦	(448)	45.8	42.5	38.2	31.0	44.2	42.6	40.2	45.6	39.5	34.2	24.8	27.9	42.0	30.6	14.5	12.4	3.1	5.2	7.4	10.0
	その他	(453)	45.5	43.8	36.4	31.0	37.5	38.2	38.9	41.8	34.4	34.4	31.6	28.3	34.7	28.4	19.4	12.8	4.9	6.3	12.6	11.5
	その他	(749)	43.8	43.8	31.0	31.0	38.2	38.2	41.8	41.8	34.4	34.4	31.6	28.3	34.7	28.4	12.8	12.8	6.3	6.3	11.5	11.5
性別	男性	(2556)	40.4	43.2	33.8	32.8	36.9	36.9	32.5	36.7	29.7	28.9	27.7	29.9	25.4	22.8	17.2	12.7	3.5	3.9	13.4	11.0
	女性	(2444)	40.6	41.9	43.4	37.3	38.1	39.6	38.4	44.8	34.5	32.2	34.2	33.6	33.1	27.1	17.2	13.6	3.8	4.7	8.3	8.7
地域別	北海道	(210)	38.1	32.0	39.5	34.5	41.9	35.5	26.2	36.5	31.9	27.5	32.4	28.0	25.2	22.5	21.9	8.5	4.5	3.3	12.4	14.5
	東北	(355)	42.8	44.6	40.3	37.1	39.7	40.6	40.0	38.9	26.5	29.4	30.7	29.7	29.3	26.3	16.6	14.6	3.1	4.0	9.3	9.1
	関東甲信越	(1825)	40.7	42.2	34.5	34.9	32.1	32.9	34.5	43.4	33.2	32.2	31.1	32.0	28.5	24.6	17.6	13.8	4.1	5.5	13.2	10.6
	東海北陸	(780)	40.3	42.5	41.2	36.1	40.8	43.6	37.4	40.0	31.3	29.2	31.5	34.0	29.9	24.3	15.5	13.7	3.1	3.9	9.7	7.9
	近畿	(816)	41.4	42.8	39.1	34.8	39.8	42.0	36.2	43.4	31.7	30.4	28.4	32.8	30.1	25.4	16.5	12.7	3.6	3.9	9.9	9.9
	中国・四国	(431)	35.5	37.8	40.4	34.4	40.8	41.8	37.1	38.0	32.9	28.9	31.8	28.5	28.3	26.9	19.7	13.8	3.0	2.0	8.8	10.9
	九州・沖縄	(583)	42.2	47.3	43.9	40.0	41.3	42.7	33.4	45.0	32.8	34.8	34.0	33.7	30.9	30.3	15.8	12.3	4.3	4.5	8.9	5.2
	九州・沖縄	(600)	42.2	47.3	43.9	40.0	41.3	42.7	33.4	45.0	32.8	34.8	34.0	33.7	30.9	30.3	15.8	12.3	4.3	4.5	8.9	5.2



# 付) 調査票 / 呈示資料

